

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (歴史的分野) 】

項目	書名 新編 新しい社会 歴史 (東京書籍)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○冒頭に歴史学習を大観できるイラスト資料を見開き2ページに用い、各時代の冒頭には代表的な人物・文化財の写真を配置した導入ページを設け、時代を概観できるように工夫されている。 ○「わたしたち歴史探検隊」で身近な地域の歴史の調べ学習を通して、我が国の歴史に対する理解と愛情を育てる工夫がされている。 ○日本に影響を与えた諸外国の歴史や文化の資料を取り上げ、世界地図を掲載して年表で外国と日本の関係を矢印で結んで示し、わが国と諸外国との歴史や文化の関わりを考えるようにしている。
特色	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能の習得させる工夫〉</p> <p>○見開き2ページを1単元とし、導入資料、「学習課題」、本文、「確認」で構成され、基礎的・基本的な知識の確実な習得を図る工夫がされている。 ○「歴史スキル・アップ」を設け、資料を読み取る技能の習得が図られている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等の育成する工夫〉</p> <p>○見開きの学習のまとめの「確認」では、学習内容の説明や因果関係をまとめ、事象の比較考察をして、生徒自身の言葉で表現するようにしている。 ○各時代のまとめで、新聞や模式図、比較表等を作る学習が設けられ、理解や思考を深めるようにしている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○「わたしたち歴史探検隊」を設け、調べ学習のポイントを「調査の達人」で示し、主体的な学習に取り組むようにしている。</p> <p>〈我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫〉</p> <p>○国宝、重要文化財、世界遺産にマークが付されている。 ○古事記、日本書紀にある神話は各地の神楽と関連付け、見開きで紹介している。 ○領土をめぐる問題については竹島を中心に扱い、資料で紹介している。</p> <p>〈我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫〉</p> <p>○各時代の導入として、時代の流れを大観させるとともに、資料をとおして学習時代がどのような時代かイメージできるように工夫している。 ○各時代のまとめとして、人物と事柄を関連づける学習「この時代の特色をとらえよう」と年表をもとに出来事を整理する「この時代を確認しよう」を設けている。</p>
総括	○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されている。 ○ページごとに、上部、左右に本文を取り囲むように写真、さし絵、文書資料、系図、グラフ、地図などが掲載されている。キャラクターが資料に対して問いかけを行っている。
表記・表現	○各項目の見出し、資料名、重要語句は太字で表記されている。左ページの図版の下にはタイトルと学習課題が書かれている。 ○各見開きの左ページ下に時代のスケールがあり、この時代の学習の時期を示している。地理や公民の学習とつながりが強い内容には、分野関連マークがつけられている。 ○本文は敬体で、資料、側注解説との対応番号、前出、後出、用語解説との関連ページが示されている。
	紙面はA B版である。時代を概観する導入、通史の学習の展開、時代の特色をまとめる構成である。学習内容の補充・深化させる「歴史にアクセス」「深めよう」、学習に必要な技能を身に付けさせる「歴史スキル・アップ」「ワーク」「調査の達人」など様々な工夫をしている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、第1章には小学校で学習した人物、文化財を振り返る作業学習、各時代の導入部には小学校で扱った資料や用語を基にした学習活動ができるように工夫している。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (歴史的分野) 】

項目	書名 中学社会 歴史 未来をひらく (教育出版)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○歴史の大きな流れを理解させるために「学習のまとめと表現」に時代の移り変わりを大観する構造図を掲載し、その時代の特色について考察・表現する活動を設けている。 ○我が国の歴史や人物を尊重する態度を育てるために、社会を築き動かしてきた先人たちが取り上げられるとともに、巻頭部に「歴史のなかの言葉」が掲載されている。 ○多文化共生の重要性を学び、国際協調の精神を育てるために、実際に触れる点字加工を活用した「点字の歴史」や、国際平和への取組を紹介する「歴史を探ろう」が設けられている。
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○見開きを1単位時間とし、導入資料、「学習課題」、本文、「ふりかえる」で構成されている。 ○本文の学習の流れに即した「読み解こう」や「学習のまとめと表現」を設け、基礎的・基本的な技能の習得を図っている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○見開きのまとめの「ふりかえる」では、学習事項の調査を通して更に考えを深めたり広めたりするようにしている。 ○「読み解こう」で、絵・地図・グラフ等を読み取る学習を行うようにしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○本文の学習を広げたり深めたりする「学習課題」や、関連する内容を紹介する「歴史の窓」、特設ページ「〇〇の(から)歴史を探ろう」が設けられている。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫> ○国宝、重要文化財、世界遺産にマークが付けられている。 ○古事記や日本書紀に記された神話を当時の生活に関連づけて、古代の人々の信仰やものの見方が見開き資料で紹介されている。 ○領土をめぐる問題については、地図資料を用いて紹介されている。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫> ○各時代の導入として、その時代と関連のある資料を取り上げ、これから学習する時代のイメージをつかませる「とびら」が設けられている。 ○各時代のまとめとして、「学習のまとめと表現」で、年表や地図で時代の移り変わりを大観し、その時代のできごとや動きを説明する学習が設けられている。</p> <p>資 料 ○見開きの左上部に、導入、中心となる資料が大きく掲載されている。 ○ページごとに、上部、左右に本文を取り囲むように写真、さし絵、文書資料、系図、グラフ、地図などが掲載されている。キャラクターが資料に対して問いかけを行っている。</p> <p>表記・表現 ○各項目の見出し、資料名、重要語句は太字で表記されている。左ページの図版の下にはタイトルと学習課題が書かれている。 ○各見開きのタイトルの上に時代のスケールがありこの時代の学習の時期を示している。 ○本文は敬体で、資料、側注解説との対応番号、前出、後出との関連ページが示されている。</p>
総括	紙面はA B版である。歴史の大きな流れを理解させるために、章末の「学習のまとめと表現」に時代の変遷を大観する構造図を設けるとともに、その時代の特色を考察・表現するようにしている。コラム「歴史の窓」、そして掘り下げる特設ページ「郷土の歴史を探ろう」など、必要な技能を身に付けさせる「読み解こう」コーナーなどに工夫がある。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、第1章において、小学校で学習した歴史的な人物や文化遺産を取り上げながら、作業活動を位置付けている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (歴史的分野) 】

項目	書名 中学歴史 日本の歴史と世界 (清水書院)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○丁寧な記述や豊富な資料を使い、日本の歴史を理解し、具体的なイメージが持てる工夫がされている。特設ページ「もっと知りたい歴史」を設け、様々な視点から考察する工夫がされている。 ○日本の文化遺産や史跡などの資料の掲載、身近な地域を調べる課題学習に取り組み、我が国の歴史に対する愛情を深める工夫がされている。 ○日本の歴史を中心にしながら、国際的な歴史的環境についても詳しく記述し、さらに近隣諸国のなかでも東アジア世界と日本とのつながりについて重視し系統的に扱っている。
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○見開き2ページを1単元として構成し、学習内容と学習課題を示し、「まとめてみよう」によって学習を振り返りやすくする工夫がされている。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける「歴史のとびら」、学習した知識・概念を確認する「まとめてみよう」が設けられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○各時代に「もっと知りたい歴史」として歴史のとらえ方に関する特設ページが設けられ、各時代の特色を様々な視点から考察するようになっている。 ○各章末の「まとめてみよう」で、その時代の特色を生徒の言葉で表現するようにしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○各章末の「まとめてみよう」で、学習した事柄を整理し把握する年表が設けられ主体的な学習を促している。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫> ○国宝、世界遺産にマークが付されている。 ○古事記、日本書紀に加え風土記の内容も網羅しながら神話について見開きで紹介されている。 ○領土をめぐる問題については本文で紹介されている。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫> ○歴史の大きな流れを理解させるために、序章に時代の特色を把握するための課題とその具体的方法(Yチャート)を示している。 ○各時代のまとめとして、「まとめてみよう」で、年表や資料で主な出来事を整理するとともに、各時代の政治や文化について説明する学習が設けられている。</p>
資料	○見開きの左上部に導入、中心となる資料が、問いかげとともに掲載されている。 ○ページごとに、上部、左右に本文を取り囲むように写真、さし絵、文書資料、系図、グラフ、地図などが掲載されている。
表記・表現	○各項目の見出し、学習課題、重要語句、「まとめてみよう」は太字で掲載されている。 ○各章のとびらのページに時代のスケールが掲載されている。 ○本文は常体で、側注解説との対応番号、前出、後出との関連ページが示されている。
総括	紙面はB版である。調査・研究活動を促し、多角的な考察をすすめる特設ページを設けている。日本史を理解する上で必要と思われる世界史的な背景について、東アジア史、欧米史を中心に丁寧に記述する工夫が見られる。1時間ごとの授業でも章末でも、知識・理解の定着や表現力等の充実を図るようにしている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、序章の「時代ごとの特色と時代の流れを考えよう！」において小学校で学んだ人物や文化財、出来事を用いた学習ができるようにしている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (歴史的分野) 】

項目	書名 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の歩み (帝国書院)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○歴史の流れを理解させるために、各時代の特色をイメージ豊かにつかめる時代像イラスト「タイムトラベル」を掲載している。 ○我が国の歴史を尊重する態度を育てるために、各時代の文化史のページを4ページとして、社会的背景まで理解できるようにしている。 ○多面的・多角的に考察する力を育てるために、「自然環境」「人権」「交流」「平和」の4テーマからなるコラムを掲載している。
特色	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能の習得〉 ○見開きを1単元として構成し、導入資料、「学習課題」が示され、「確認しよう」によって学習を振り返る構成で、基礎的・基本的な知識を習得するようにしている。 ○「技能をみがく」で、資料を読み取る技能を習得するようにしている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等の育成〉 ○特集ページ「トライアル歴史」では、討論する中で思考、判断し、意見をまとめ表現する活動を取り入れる工夫がされている。 ○見開きごとの「説明しよう」では学習した内容を生徒自身の言葉で表現するようになっている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む工夫〉 ○各時代の導入に「タイムトラベル」を設け、学習の前に課題意識を持つための問いを設定している。</p> <p>〈我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫〉 ○国宝、世界遺産にマークが付されている。 ○コラムで古事記や日本書紀の神話を紹介するだけでなく、他国の神話とも比較しながら紹介している。 ○領土をめぐる問題については竹島を中心に扱い、資料で紹介している。</p> <p>〈我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫〉 ○各時代の導入「タイムトラベル」を設け、学習する時代がどのような時代かとらえられるように工夫している。 ○各時代のあとには「時代をふりかえって」、部のまとめには「学習をふりかえろう」を設け、年表や地図をもとに出来事を整理、説明するように工夫している。</p>
資料	○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されている。 ○ページごとに上部、左右に本文を取り囲むように写真、さし絵、文書資料、系図、グラフ、地図などが掲載されている。「資料活用」の課題が示されている。
表記・表現	○各項目の見出し、学習課題、重要語句、「まとめてみよう」は太字で掲載されている。 ○各ページの右側に時代のインデックスが掲載されている。 ○本文は敬体で、資料、側注解説との対応番号、タイムトラベルとの関連ページ、前出、後出との関連ページが示されている。
総括	紙面はA B版である。歴史の大きな流れを理解させるために、各時代の大きなイラスト「タイムトラベル」を設けている。続く本文や資料・図版によって学習を深め、最後に「学習をふりかえろう」で知識・理解の定着や言語活動の充実を図っている。「羅針盤マーク」「人物コラム」「地域史」など多様なコラムが設けられている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、第1章「歴史のとらえ方と調べ方」で、小学校で学習した人物と年表を結びつける作業学習ができるようにしている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (歴史的分野) 】

項目	書名 中学社会 歴史的分野 (日本文教出版)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり	○各時代の前半部分に「時代の転換のようす」、まとめには「時代の特色」を設け、日本の歴史の大きな流れがつかみやすいように工夫されている。 ○我が国の歴史を尊重する態度を育てるために、各時代の文化学習の学習だけでなく、コラム「先人に学ぶで、人や地域に学ぶことができるようにしている。 ○多面的・多角的に考察する力を育てるために、日本の歴史の背景となる世界、特に東アジアの中で日本史をとらえるようにしている。
特色	<p>〈基礎的・基本的な知識・技能の習得〉 ○見開きを1単位時間とし、導入資料、「学習課題」、本文、「学習の確認と活用」で構成されている。学習内容の理解を図るため、「基本用語」、「言語活動コーナー」を設けている。 ○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる「スキルUP」、学習した知識・概念の確認する「とらえよう！時代の特色」が設けられている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等の育成〉 ○学習したことを活用しながら、「とらえよう！時代の転換」や「とらえよう！時代の特色」で、自分の言葉で表現することを促す学習活動が各時代に設けられている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む工夫〉 ○第1編「歴史のとらえ方」で歴史の調べ学習の流れが事例をもとに示されている。 ○「出かけよう！地域調べ」を6箇所設定し、各地の事例をもとに史跡や博物館見学などのポイントが提示されている。</p> <p>〈我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫〉 ○国宝、世界遺産にマークが付されている。 ○コラム「古代史+α」で古事記、日本書紀などの神話が紹介されている。 ○領土をめぐる問題については本文とコラムで紹介している。</p> <p>〈我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫〉 ○各時代の導入に各時代を概観し前の時代と比較するなど、今後の学習のねらいを示している。 ○前の時代と比較し、どのような変化があったのかを考えさせる「とらえよう！時代の転換」が設けられている。 ○各時代のまとめとして、「とらえよう！時代の特色」を設け、年表・地図・資料をもとに時代を振り返り説明する学習ができるように工夫されている。</p>
資料	○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されている。 ○ページごとに上部、左右に本文を取り囲むように写真、さし絵、文書資料、系図、グラフ、地図などが掲載されている。キャラクターが資料に対して問いかけを行っている。
表記・表現	○項目の見出し、学習課題、重要語句、「学習の確認と活用」は太字で掲載されている。 ○見開きページの左側に時代のインデックスが掲載されている。 ○本文は敬体で、資料、側注解説との対応番号、前出、後出との関連ページが示されている。
総括	紙面はA B版である。各時代の前半と終末に歴史の大きな流れを理解させるページがある。資料や課題提示を工夫することで基礎的・基本的な内容の定着を図っている。特設ページ、「歴史を掘り下げる」、「先人に学ぶ」で内容の補充・深化を、「スキルUP」「言語活動コーナー」で技能や表現力の育成を図っている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、「連携コーナー」、第1編や各時代の導入にある年表には小学校で学んだ人物・文化遺産などを確認できるようにしている。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (歴史的分野) 】

項目	書名 新版 中学社会 新しい歴史教科書 (自由社)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○歴史の流れを理解させるために、序章「歴史のとらえ方」に13ページを充て、人物、地域を通した歴史の学習方法が紹介されている。 ○我が国の歴史を尊重する態度を育てるために、コラム「人物クローズアップ」、「もっと知りたい」、国際協調の精神の育てるために、コラム「外の目から見た日本」を設けられている。 ○多面的・多角的に考察する力を育てるために、時代のまとめにおいて、時代比較、人物比較の課題を設けている。
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○見開き2ページを1時間とし、タイトル、学習課題、資料、まとめにチャレンジで構成されている。 ○基礎的・基本的な技能の習得を図るために、見開きページの「まとめにチャレンジ」を設定、また、章末には「歴史豆辞典」100字用語解説を設けている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○見開きのまとめとして「まとめにチャレンジ」を設け、文章でまとめる課題が設定されている。 ○章末のまとめで、「ひとこと作文」「意見交換会」を設定し、作文、意見交換を行う課題が設けられている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○興味・関心に応じて、学習内容を深め主体的に学習を進められるように、「もっと知りたい」、「人物クローズアップ」などのコラムが設けられている。</p> <p><我が国の歴史にも対する理解と愛情を深めさせる工夫> ○国宝、重要文化財マークが付けられている。 ○本文において「神話が語る国始まり」を設けているほか、コラム「もっと知りたい」でも神話を紹介、古事記、日本書紀は本文と資料で紹介している。 ○領土をめぐる問題は、本文と側注解説で紹介している。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫> ○各時代の導入ページに2つの資料を比較し、キャラクターの問いで、これから学習する時代のイメージをもたせるようにしている。 ○各章のまとめに「どんな時代か」を設け、時代比較、人物比較、ひとこと作文、意見交換会を通して、時代の特色を捉える課題を設けている。 ○巻末に「歴史を学んで」を設け、日本の歴史の特色を考える課題が設定されている。</p>
資 料	○見開きの左上部に導入、中心となる資料が掲載されている。 ○ページごとに上部、左右に本文を取り囲むように写真、さし絵、文書資料、系図、グラフ、地図などが掲載されている。
表 記 ・ 表 現	○各項目の見出し、学習課題、重要語句は太字で掲載されている。 ○本文は常体で、側注解説との対応番号、前出、後出との関連ページが示されている。
総 括	紙面はB版である。序章の「歴史のとらえ方」で人物や地域に焦点を当てた歴史学習の方法を示している。本文の適宜配置されたコラムの文章により本文を補充・深化し、全体としてストーリーとして理解されるように構成されている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、序章「人物をとおして時代をとらえる」で、小学校で学んだ人物一覧から人物カードづくり、ミニ伝記のまとめ方の手順を示している。

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 社会 (歴史的分野) 】

項目	書名 新編 新しい日本の歴史 (育鵬社)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり	○歴史の流れを理解させるために、章の初めに鳥の目で歴史を大観する「歴史絵巻」、虫の目で時代の特色をつかむ「～の世界へようこそ」を設けている。 ○我が国の歴史を尊重する態度を育てるために、コラム「人物クローズアップ」女性の活躍に注目した「なでしこ日本史」を設けている。 ○多文化共生の重要性を学び、国際協調の精神を育てるために、各章扉のページには「海洋国家日本の歩み」、各章には「このころ世界は」を設けている。
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○見開き2ページを1単位時間とし、導入資料、タイトル、学習課題、資料、まとめの課題で構成されている。 ○基礎的・基本的な技能の習得を図るために、見開きページに説明する課題を設け、また、章末には「学習のまとめ」を設けている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○見開きの最後にまとめの課題を設け、学習した内容について、文章でまとめる活動を設けている。 ○章末のまとめにおいて、資料をもとに文章で説明する課題を設けている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○「課題学習」を7テーマ設け、地域調査や調べ学習など自分たちで取り組む課題を設けている。</p> <p><我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫> ○国宝、世界遺産にマークが付けられている。 ○「歴史ズームイン」において、神話に見るわが国誕生の物語や日本人の宗教観について紹介している。 ○領土をめぐる問題は、本文とコラム「歴史ビュー」で紹介している。</p> <p><我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫> ○歴史の流れを理解させるために、章の初めに鳥の目で歴史を大観する「歴史絵巻」、虫の目で時代の特色をつかむ「～の世界へようこそ」を設けている。 ○巻頭及び章の扉のページに、100年を1cmとした「歴史モノサシ」を設けその章で学習する時代を理解できるようにしている。 ○時代のまとめとして、人物と事柄を関連づける学習「この時代の特色をとらえよう」と年表をもとに出来事を整理する「この時代を確認しよう」を設けている。</p> <p>資料 ○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されている。 ○ページごとに上部、左右に本文を取り囲むように写真、さし絵、文書資料、系図、グラフ、地図などが掲載されている。キャラクターが資料に対して問いかけを行っている。</p> <p>表記・表現 ○各項目の見出し、学習課題、重要語句は太字で掲載されている。 ○本文は敬体で、側注解説との対応番号、前出、後出との関連ページが示されている。</p>
総括	紙面はA B版である。歴史の大きな流れを理解させるために、序章の「歴史のとらえ方」で人物や地域に焦点を当てた歴史学習の方法を示している。「人物クローズアップ」「なでしこ日本史」など人物を多く取り上げ、献身、公共、勇気、勤勉などの美德を体現した人物や国家の岐路において道を切り開いていった人物を紹介した工夫が見られる。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、序章で、小学校で学んだ人物で「歴史人物Q&Aカードをつくろう」という課題学習の事例を示している。